

地 域	但馬	日 付	9/6 (日)	人 数	15 人
参加者	30代から50代の朝来市在住者				
主な意見					
(多様性と寛容性を大事にする町としてアピールしてはどうか)					
<ul style="list-style-type: none"> ・神戸、横浜、名古屋と住んで朝来にいるが、どうしても単一の価値観というものはある。男性とは、女性とは、学生とは、親とは、夫婦とは、こうあるべきというのは、言葉にはならないが感じるものはある。子供が都会に出て、のびのびできる、自由を感じられる要因の一つだと思う。それを自治体側が、「うちは、多様性と寛容性を大切にする町です」ということを掲げてくれると、「ここはいろんな人に来てもらいたいと考えているんだな」と届くと思う。 					
(生活と健康を守るためにも交通インフラは重要)					
<ul style="list-style-type: none"> ・健康を守るうえで交通インフラの問題は考えていかななくてはいけないと思う。障害を持たれている方、高齢で運転が困難な方にとっては、現在の但馬の交通インフラでは健康を守り切れなれている。私達自身の生活と健康を守るためにも、その地域に合った交通の便としてどういうものが必要なのか考えていかなければいけない。 					
(県民に愛される但馬ブランドを育てる)					
<ul style="list-style-type: none"> ・これから先、但馬地域の人口が急激に増えることは考えにくいですが、一定数は田舎が好きで住むことを望むと思う。そういう方達の生活が成り立つためには、但馬の農業や漁業の資源を但馬ブランドとしてまずは県民に愛されることが必要ではないか。さらに海外の富裕層向け輸出などにより儲かる農業モデルを作れないか。 					
(学生のうちにたくさんの刺激を与えて将来の夢を広げるべき)					
<ul style="list-style-type: none"> ・日本の教育は「将来何になりたいか」といったことを語らせるため、職業を1つに絞らせがち。そうではなくて色々な刺激を学生に与えていけばもっと夢が広がるはず。 					